

2020年6月18日

Peach Aviation 株式会社

7月22日から、国内線全便の運航を再開 ～一部路線では8月に増便を決定～

- ・ 7月22日(水)より、事業計画通りの国内線1日あたり22路線約100便で運航
- ・ 繁忙期を迎える8月1日(土)より、事業計画を上回る増便を実施
- ・ 引き続き、空港、機内で徹底した感染対策を実施

Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 森 健明)は、新型コロナウイルスの影響にともなう国内線の減便、運休を段階的に解消し、7月22日(水)からすべての国内線の便で運航を再開することを決定しました※1。



1日あたりの運航便数は、新型コロナウイルス感染拡大前に策定した国内線の事業計画通り22路線約100便となります。さらに、繁忙期を迎える8月1日(土)から8月31日(月)は、国内線の増便を実施し、当初の事業計画である3,270便を上回る、3,822便を運航します。(増便数:11路線552便)

また、既に発表の通り、Peachは、6月19日(金)から国内線全路線となる22路線で運航を再開するものの、一部路線では7月21日(火)まで便数を減らして運航します。今後の運航便の詳細は以下の特設ページ(運航の再開状況について)をご覧ください。なお、国際線は引き続き運休いたします。

(運航の再開状況について): www.flypeach.com/information/jp/resume_flights/

なお、Peachではお客様に安心してご利用いただけるように、スタッフのマスク、手袋、フェイスシールドの着用や、機内消毒の実施など、空港、機内で徹底した感染対策を実施しております。詳しくは、以下の特設ページ(感染対策について)をご覧ください。

(感染対策について): www.flypeach.com/information/jp/infection_control/

※1 機材繰りのため、MM132、MM564は7月23日より運航します